

2024年4月17日
株式会社SVPジャパン

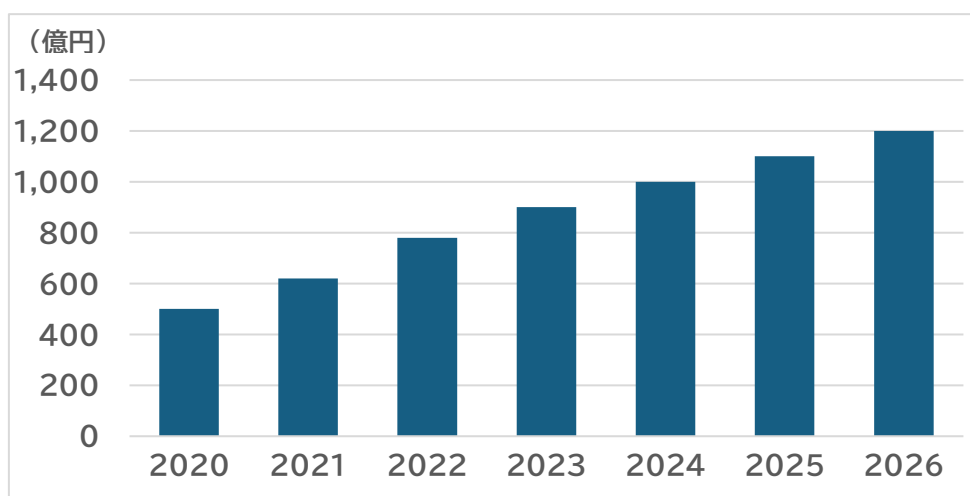
SVP注目市場分析 「エンタープライズSaaS(営業・マーケティング)」を公開

～営業・マーケティング活動に関わる業務の効率と生産性の向上～



会員制マーケットリサーチサービスを提供している、株式会社SVPジャパン（本社：東京都中央区、代表取締役社長：橋本 雅、以下「SVPジャパン」）は、本日、SVP注目市場分析レポート「エンタープライズSaaS（営業・マーケティング）-国内市場の現状と将来展望-」を、会員企業向けに公開いたしました。

■エンタープライズSaaS（営業・マーケティング）の国内市場



営業・マーケティング領域のエンタープライズSaaSとして、セールスフォースオートメーション（SFA）とマーケティングオートメーション（MA）のSaaSの国内市場を調査対象とする。

SFAは、営業活動の成約率の向上や効率化を目的に導入される情報システムで、日本語では営業支援システムと呼ばれる。MAは、マーケティング活動に関わる業務を自動化し、効率化と生産性向上を図るツールである。

国内のSaaS型SFA・MAの市場規模は、2023年の実績として約900億円と推定される。市場規模はここ数年で急速に拡大しており、最近5年間で倍増以上の成長を遂げ、2023年も二桁の成長が続いている。

サービスの種類別には、SFAの市場が80%弱を占めると推定される。市場はSFAを中心に拡大してきたが、SFAとMAの連携による、見込み顧客の特定から受注までを分析する活用方法も増加しており、MAの市場も拡大している。

■エンタープライズSaaS（営業・マーケティング）の市場概況

営業・マーケティング領域のSaaSは、2000年代に入り市場が立ち上がった。同サービスの市場を世界的に牽引する米セールスフォースが、日本法人を設立したのが2000年である。営業・マーケティングツールとしての有効性が裏付けられ、2010年代から大企業を中心に普及が本格化した。

近年では、経済産業省の旗振りで企業のDX投資の意欲が高まったことが、市場拡大の追い風となった。さらに、コロナ禍を契機に2021～22年にかけてテレワークが急速に普及する中で、クラウド型で迅速に導入でき、顧客対応のオンライン化にも連携できるシステムとして、SaaS型のSFAやMAを導入する企業の増加に拍車がかかった。

新規ユーザーが着実に増加していることに加え、サービスの機能拡張が既存のユーザー企業における利用の拡大にもつながっている。



■本レポートの構成

- I. 市場の定義
- II. 市場動向
- III. 市場規模・予測
- IV. マーケットシェア
- V. 参入企業の動向
- VI. 業界構造



←レポート全編を見る クリック
※本サービスのご利用は、
SVP会員様限定でございます。

■購読について/資料ダウンロード・お問い合わせ

本サービスのご利用は、SVP会員様限定でございます。

購読をご希望の場合、当社SVP会員になっていただけますと、定期的に配信する市場調査レポートを全てご購入いただけます。なお、SVP会員は、ビジネス調査に関する、クイックリサーチとプロジェクトリサーチもご利用いただけます。

資料請求

お問い合わせ



■ 次回のテーマ

5月のテーマは「エンタープライズ SaaS (グループウェア)」と「AR/VRデバイス」を予定しています。

～SVP注目市場分析レポート更新スケジュール…毎月第1・第3水曜日の発刊を予定～

[会社概要]

社名 : 株式会社SVPジャパン
代表取締役 : 橋本 雅
所在地 : 東京都中央区日本橋蛸殻町1-38-9 宮前ビル2F
設立年月日 : 1974年7月1日
事業内容 : 会員制のビジネス情報提供サービス
URL : <https://www.svpjapan.com/>

[本プレスリリースに関するお問い合わせ先]

株式会社SVPジャパン DX推進部 デジタルマーケティング課
info@svpjapan.com